

おokayama医療機器開発プロフェッショナル

(実施期間：平成 20～24 年度)

実施機関：学校法人加計学園 岡山理科大学（代表者：波田 善夫）

連携自治体：岡山県

課題の概要

医療機器の開発・事業化に必要な医療機器に関する専門知識、安全性試験、臨床試験、薬事承認を遂行するための実戦的な知識、知的財産・MOT 等の効率的な開発遂行に重要な知識を有し、地域企業において医療機器開発の中核となる人材を養成する。医療機器事業進出に強い意欲を有する地域企業に所属し将来当該企業において中核人材となる従業員に対して専門知識・スキルに関する講義・実習を行う。養成した医療機器開発プロフェッショナル人材が地域の医療機器関連企業において新規医療機器開発の中核的役割を果たし、岡山県の医療機器産業の創出・育成を図る。

(1) 総合評価（所期の計画と同等の取組が行われている）

地域ポテンシャルの高さに基づいて地域産業の更なる発展を見据えた取組であるとともに、自治体による地域振興の方向性とも十分に合致しながら、意欲のある企業と連携したプログラムであることが評価できる。また、養成人数目標を上回る点や修了生の地域への定着率の高さは、地域との連携が十分に行われていることを示している。一方で、「医療機器開発の中核となり得る人材」という到達レベルに至るよう、派遣側企業の評価も加味したカリキュラムのより一層の充実を期待する。更には、臨床現場とネットワークを構築しつつ地域医療の蓄積を活用しながら地域の再生に資するよう、より一層の努力を期待する。

<総合評価：A>

(2) 個別評価

①進捗状況

おおむね計画どおりであり、養成人数としては十分な成果が得られている。共同研究への進展などの成果も評価できるものの、人的ネットワークによって得られたものに限定されている。本来の人材養成による知識向上を具体的な成果につなげ「医療機器プロフェッショナル」を生み出すことを期待する。また、臨床医師の参画の度合いなどは必ずしも十分とは言えず、各医療領域の専門家による生の声を直接聞く機会を持つなど、人材養成目標のより高いレベルでの達成に向け、今後取組を加速することを期待する。

②人材養成手法の妥当性

工学的に医師の要求を把握する力と幅広い分野の最先端の事例を学ぶことができるカリキュラム構成、及び個別レポートの作成などで実践力をつける手法など、よく練られた養成手法は評価できる。受講生の上司へのアンケートを通して研修効果を検証し、養成手法の改善に努めている点も評価できる。しかしながら、本来の目標である「医療機器開発の中核となり得る人材」の養成という点では、知的財産、MOT、法令遵守等については十分な成果が得られていないため、カリキュラム、養成人材の選考基準を改善するなど今後とも継続的な検討を行うことを期待する。

③実施体制・自治体等との連携

県が主導して設立した産学官連携組織を通じ企業に研修生の派遣を呼びかけるなど、自治体との連携は順調に行われており、実施機関を中心に医療機関、関係企業も連携した実施体制となっている点は評価できる。企業から本養成ユニットへ派遣された養成者数が計画を上回ることは、実施者と企業との信頼関係が厚いことを示している。事業終了後の継続・発展に結びつくだけの強力な実施体制となるよう、今後とも関係強化に向けた一層の努力を期待する。連携自治体においても、これまでの地域における産業などの集積を更に活かす上で積極的な役割を果たすことを期待する。

④人材養成ユニットの有効性

関連した複数の共同研究が開始されたこと、及び上司アンケートの結果より明らかになった修了生の活躍事例などから、おおむね妥当であると評価できる。研修生の地域への定着率が高く、養成された人材の活躍が地域において評価されることにより、更に応募者が増える等の好循環も期待できる。また、関連地域との連携や情報発信も効果的に行われている。養成された人材のレベル等が派遣企業の意図・評価と整合するよう、派遣企業側の具体的な要請と実施者側の目的・目標の摺り合わせを行うとともに、カリキュラム内容などにも一層の改善を期待する。

⑤継続性・発展性の見通し

本事業で得た知見を基に大学院教育や社会人入学者コースを検討していることや、地元企業との交流会をベースに修了者の技術レベルを継続的に向上しようとする施策は評価できる。今後は、修了者のフォローアップを十分に行う一方、地域企業に在籍する社会人向け「中核人材教育」の高度化を目指し近隣の大学・医師との協力を図るなど、人材養成が途切れることのない継続的な体制の構築を期待する。

(3) 評価結果

総合評価	進捗状況	人材養成手法の妥当性	実施体制・自治体等との連携	人材養成ユニットの有効性	継続性・発展性 の見通し
A	a	a	a	a	a